

## 第1991回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和6年10月17日(木) 午前10時開会  
午前10時43分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、佐藤副教育長、  
古垣教育総務部長、青木県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、  
我妻教職員採用課長、平野総務課長(書記長)  
小島書記、三橋書記、大久保書記、星野書記、縣書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- (1) 議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
  - 日吉教育長が、首藤委員を議事録の署名者に指名した。
  - 会議を公開しないこととする事項について  
日吉教育長が、第76号議案の審議について、会議を公開しないこととする動議を提出  
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
  - 日程の変更について  
日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出  
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定
- (2) 報告事項
- 令和7年度埼玉県公立学校教員採用選考試験等の結果について

我妻教職員採用課長（提出理由、令和7年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の1次受験者数、最終合格者数及び倍率（全校種）、令和6年度実施埼玉県公立学校教員採用選考試験「大学3年生チャレンジ選考」の受験者数、選考通過者数及び選考通過率等について説明）

櫻井委員 2点お伺いします。1点目は、最終合格者が1,755人ということですが、合格者の中から実際に採用できる人は何パーセントぐらいなのでしょう。合格をしても辞退する人がいると思いますので、その辺りを加味しているのか否かも含めて、例年どのぐらいあるのか教えてください。2点目は、臨時的任用教員から受験された方もいると思いますが、年齢について最高齢や平均が分かれば教えていただければと思います。

我妻教職員採用課長 1点目の辞退率に関してですが、今年度合格した方については、まだ数字がございませんので、昨年度合格した方のデータを申し上げますと、辞退率は4.4パーセント、辞退者77名という状況でございます。他の自治体の状況はつぶさに把握できておりませんが、例えば10パーセント、15パーセントの辞退率があるような自治体も聞いておりますので、それと比較しても辞退率は少ない状況かと思っております。また、合格者を出す際に当たりまして、こうした事態があることを見込んで合格者数を出しております。2点目の年齢に関してですが、今回の最高齢は59歳、平均年齢は26.8歳でございます。

櫻井委員 民間も含めまして、各企業とも今非常に採用が大変だということで、合格者や内定者を何とか自分の会社に良い人を採用しようと様々な取組をしていると思いますので、せっかく合格された方たちには、是非内定を辞退されないように、勧誘など何らかの手段を講じていただければと思います。

小林委員 なかなか倍率が上がってこないところで、何とかしなければというのはありますが、2点ほど質問させてください。特別選考について、様々取り組まれていると思いますが、一般選考と特別選考の合格者の割合を教えてください。特別選考にも合格する道がたくさんあるのか、一般選考と比べて厳しいのか、現状を知りたいです。2点目は、資料12ページの「大学推薦特別選考」と「彩の国かがやき教師塾特別選考」について、特に「彩の国かがやき教師塾特別選考」は、

昨年度は合格率100パーセントでしたが、今年度は一人合格できなかった方がいます。しっかりと時間をかけて教師塾に通ってもらい、準備をされて合格されると思ったのですが、合格できなかった理由が分かりましたら教えてください。また、「大学推薦特別選考」につきましても、大学からこの学生であればと推薦をしていただいている中で、不合格となった理由についても、お分かりでしたら教えてください。

我妻教職員採用課長 まず、1点目の合格者のうち一般選考と特別選考の割合につきましては、一般選考が39.7パーセント、特別選考が60.3パーセントという状況でございます。例えば、本採用教員経験者特別選考は4.7パーセント、臨時的任用教員経験者特別選考A選考は24パーセント、臨時的任用教員経験者特別選考B選考では13.6パーセントという状況でございます。次に、「彩の国かがやき教師塾特別選考」の合格率が昨年度100パーセントだったのが、今年度一人合格していない理由につきましては、選考で落ちたのではなく、本人の事情により途中で受験を辞退されたことによるものでございます。また、「大学推薦特別選考」につきましては、昨年度に比して合格率は上がっておりますが、合格率が100パーセントにならない理由としまして、一次試験は免除となっております。2次試験で面接や論文を受験していただいております。前段階として、大学から学生を推薦していただき、2次試験に臨んでいただいておりますが、選考の結果を受けて、合格率が100パーセントになっていないという状況でございます。

小林委員 私のイメージとしては、一般選考の方が合格者の割合が多いと思っておりますが、意外と少ないと思いました。

日吉教育長 ちなみに、「大学推薦特別選考」は大体どのような大学に依頼をしているのでしょうか。県内の大学のみなのか、県外の大学も含まれているのでしょうか。

我妻教職員採用課長 県内の大学に限らず県外の大学も含めております。どのような大学に推薦を依頼しているのかにつきましては、過去に本県の教員採用試験にどのくらい受験をしていただいているか、あるいは過去の合格者数というような

視点も踏まえて、お声掛けをさせていただいております。

坂東委員 「大学3年生チャレンジ選考」は、今年度から始まった選考ですよ。

そうしますと、選考に通過された約1,100名の方は、全員かは分かりませんが、来年度の合格者数に反映されるという理解でよろしいでしょうか。

我妻教職員採用課長 おっしゃるとおりです。今回、1,104名が選考を通過されて、我々とする、全員が受験をしていただきたいのですが、この「大学3年生チャレンジ選考」、いわゆる前倒し選考というのは、他自治体でも始まっており、今年度、全国で40の自治体が行っております。例えば、他県と併願されている学生もいますが、自治体によって受験日が異なりますので、その中で是非本県を来年度に受験していただきたいという思いがあります。

坂東委員 一部の試験を前倒しで行っており、来年度も試験を受けなければならないのですが、もし来年も試験を受けるのであれば、ある程度受験しやすい体制になっているため、合格しやすいということなのではないでしょうか。

我妻教職員採用課長 まず、大学4年次の受験のイメージを申し上げますと、「大学3年生チャレンジ選考」を通過した学生は、来年度、1次試験を受験していただく必要はありますが、受験科目は専門分野のみとなりますので、そこに注力ができると思います。また、埼玉県が他の自治体と異なるところは、大学3年次に受験していただくときに、小学校や中学校、高校などの志願区分を迷っている学生もいらっしゃるかもしれませんので、3年次時点では、志願区分をまだ確定しなくてよいとしています。4年次に受験するときに志願区分を確定し、志願していただく制度としておりますので、そのような意味でも受験しやすい状況かと思えます。

坂東委員 そうしますと、3年次に選考を通過している人と通過していない人が一緒に受験をするときには、やはり3年次に選考を通過している方に利点があるわけですよ。今回、約15パーセントの方は選考を通過できておりませんが、その方たちは一般の方と同じように4年次に受けるという理解でよろしいでしょうか。

我妻教職員採用課長 おっしゃるとおりです。

坂東委員 是非、今回選考を通過された方が来年受験していただき、倍率が上がる  
と良いと思います。

首藤委員 養成校に勤めていた経験から質問いたしますが、今どこの養成校も、教  
員出身の教授を教職支援室という部署を設けて採用し、大学1年生から教員採用  
に向けて具体的な指導をしています。そのような教職支援担当の教員と教育委員  
会との協議会もあるかと思えます。特に、面接の指導などを熱心に行っておりま  
すが、まずは、協議会を行うことによって県で求めている人材を共有できている  
のでしょうか。2点目は、元教員が指導していますから、どうしても同じような  
大学生を養成してしまうという気がします。そのため、面接の評価、観点は多様  
な方が良いと思います。教員だけではない、様々な立場の方を面接官に入ってい  
るという説明でしたが、具体的にどのような人に面接官になっていただいている  
のか、もう一度説明をお願いします。

我妻教職員採用課長 まず、養成大学との協議会の関係についてですが、本県は県  
内の教員養成学部を有する大学のうち、五つの大学と採用や養成に係る連携協定  
を結んでおります。連携をしている大学とは、定期的に協議会という形で意見交  
換をさせていただいておりますが、それ以外にも、広く大学との連携協議会を年  
に1回行っています。先ほどの五つの連携大学に限らず広くお声掛けさせていた  
だき、教員採用選考試験の概要や結果の説明、質疑応答などを行っております。  
そのような取組を通して、広く養成課程の大学の御意見と我々が求める人材や採  
用試験の概要などを話しながらより良いものにする努力をしています。2点目の  
面接等において御協力いただいている外部の方については、具体的には、民  
間企業やP T A、地域の保護司、心理関係の方に御協力を賜っています。

首藤委員 それでは、教育委員会の人事部署の方よりも外部の人の方が多いので  
しょうか。

我妻教職員採用課長 面接試験には、現場の校長や教頭、あるいは行政職員が入り、  
そこに外部の方も参画していただいております。人数のボリューム感は、校長や  
教頭といった管理職の方が多い状況です。

首藤委員 多様な視点で採用していただければと思います。

(3) 次回委員会の開催予定について

10月24日(木)午前10時

<非公開会議結果>

議事

第76号議案 教育局等職員の懲戒処分について

上程

非違行為を行った教育局の女性課長級職員(52歳)に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。